

#### <第4222回>

目的地：万灯呂山・山背古道・青谷梅林

担当者：熊谷

実施日：2022年2月27日(日)

形式：日帰りハイキング

費用：¥1,260.-(京阪京橋駅発着)

参加者：23名

天気：曇り時々晴

行程：

山城多賀駅(9:02)→谷川ホテル公園→山城多賀フルーツライン→龍王の滝分岐→(9:42)龍王の滝(10:00)→龍王の滝分岐→大正池分岐→(10:55)万灯呂山(大峰)(11:10)→(11:17)北峰(11:25)→(11:35)万灯呂山(大峰)[昼食](12:17)→大正池分岐→龍王の滝分岐→山城多賀フルーツライン→(13:13)谷川ホテル公園(13:24)→(13:53)市辺天満神社(13:56)→(14:12)中天満神社(14:18)→(14:30)青谷梅林(14:35)→(15:06)長池駅[解散]

感想：

山城多賀駅には22名の方がいろんな経路で集まっていただきました。トイレ付の駅前広場は広く、会歴の浅い新人数名も含め自己紹介しました。細い集落の道をぬけ、山に入っていきますが、いきなり猿の集団を発見。道沿いにはフルーツ他農園や畑があり、それを狙ってすみついているのでしょうか。ブドウ園や茶畑、観光農園を見ながらさらに進みます。龍王の滝への標識が見え、そこから龍王の滝に降りていきます。岩の上からだいたい全貌が眺められましたが、谷にいったん降りてからのアプローチはしにくいようでした。滝の見物を終え、林道に上がるとIさんがいつのまにか合流していました。これで合計23名。ここからは万灯呂山山頂まで林道を歩きます。山道経由で登りたかったのですが、スズメバチの巣や崩落で本来の登山道が通行止めとなっていました。林道では自転車登山頂をめざすサイクリストと数組すれ違いました。万灯呂山(大峰)は展望台になっていて、木津川の流れが見渡せる大変眺望のよいところで、ここで記念撮影。さらに北峰にほんの少しだけ縦走します。やっと雰囲気の良い山道を歩いていたら、バイクが2台登山道を登ってきてビックリしました。通行止めの山道から登ってきたようです。北峰は展望がありませんが、俗化されていないよいピークでした。万灯呂山(大峰)に戻り、昼食。風もあり少し寒かったのですが、日が出てくると少し暖かくなりました。山頂でトイレをすませ、元来た道を下山しました。延喜式内社の高神社参道入口にある谷川ホテル公園では、季節がくるとホテルが乱舞しているだろうと思いをさせていました。ここから先は後半の山背古道と青谷梅林に向かいます。山背古道は、地元沿線自治体の当初のPRとほうらはらに、一部には雰囲気のある集落や神社もありましたが、人も歩いておらず、盛り上がっていないように感じました。そしてお目当ての梅林ですが、青谷梅林の周辺も含め多くの梅が植えられていましたが、残念ながら、今年は寒く、ほぼつぼみでした。昨年はこの時期に満開のようでしたが・・・。また、今年もコロナで梅祭りは中止で閑散としていました。駅へ向かっていると、地元の人から、あと2週間くらいで満開になるので、その時また来て下さいと声をかけられました。満開の梅はかないませんでした。けっこうよく歩いた例会だったと思います。大勢の方にご参加いただきありがとうございました。

特記：

青谷梅林は京都最大の梅林で、その大梅、小梅は城陽特産の梅酒、和菓子の原料、梅干しとして加工されたり、京都、名古屋方面にそのほとんどが出荷されているようです。梅まつりは春の風物詩として、毎年約2万人もの観梅客が梅を堪能するそうです。